

# ているるちゃんがいく!

Vol. 73

2024.1



- 特集1 令和5年度「ているる塾」公開講座
- 特集2 「女性に対する暴力をなくす運動」
- 特集3 女性起業塾、キャリアアップセミナー「起業家への道」
- ているる塾修了生コラム第7回 第2期修了生 大塚 乃子 さん
- 事業報告／事業案内
- ご案内／寄付のご報告

# おきなわ女性財団30周年記念感謝状贈呈式・第5期ているる塾公開講座

## ◆30周年記念式典 表彰状贈呈式

(公財) おきなわ女性財団は、今年設立 30 年を迎えることから「30 周年記念イベント」の第 2 段として、11 月 18 日のているる塾公開講座の前に、財団へ過去 10 年間に多額の寄付をされた、金秀グループ、一般社団法人沖縄県女性の翼、株式会社碧、渡名喜よし子さん、伊波輝美さん、奥村啓子さん、垣花みち子さん、マイルズ・デフォジュさんの 3 団体・5 人に感謝状を贈呈しました。



## ◆ているる塾・公開講座

女性人材育成を目的とした全 9 回の「ているる塾」4 回目の講座として、浜田敬子先生による公開講座『日本がジェンダー後進国から抜け出すには～小さな変化を沖縄から日本社会へ～』が沖縄県男女共同参画センター・ているるホールにて開催され、塾生と一般の方と合わせて 130 名を超える方々が受講されました。

浜田先生は、1989 年に朝日新聞社に入社後、1999 年から AREA 編集部配属。2014 年から女性初の AERA 編集長を務められ 2017 年に朝日新聞社を退社。

2022 年 8 月には一般社団法人デジタル・ジャーナリスト育成機構を設立され、2020 年度ソーシャルジャーナリスト賞を受賞。

テレビ番組のコメンテーターや多数のご講演でご活躍されている浜田先生から、ジェンダー後進国と呼ばれている日本で私たちはどういったアクションができるかなど、多岐にわたりお話を伺いました。



## ◆浜田敬子氏・講演会

今回の演題にもありますが、本当に日本は男女格差が大きいままです。

私自身ずっと日本で仕事をしていると、「少しずつ良くなっている」と思いがちなのですが、世界の状況がどんどん変わっている中で、日本がどれくらい遅れているのか？遅れていることによって私たちの暮らしや職場や政治にどんな影響が及んでいるかをお話させていただきたいと思います。

私は中学生の頃から新聞記者志望で、自ら望んで新聞記者になったにもかかわらず、朝日新聞社に入社した当時は女性が少なく、警察などの取材先で記者と認識されなかったことや、現場で「女性の記者には、何も話せない。」と何度も言われた経験があります。会社という大きなシステムの少数派（マイノリティ）であることで居心地の悪い経験をしてきました。

そういった新聞社勤務で転職が訪れたのは、週刊誌 AERA への異動が決まったことです。

当時、上司である編集長は男性だったのですが、先見性のある上司で女性の意見を取り入れた紙面づくりをすることで、実際に AERA の売り部数を上げました。

入社何年目であろうと、おもしろい企画を出せばたくさんページが貰えましたし、新聞社特有の年功序列でヒエラルキーのはっきりした職場では、なかなか味わえない仕事の面白さを経験することが出来ました。

近年、各分野で働く女性が増えたと実感していますが、2023 年に世界経済フォーラムが発表した国別の男女格差指数で、日本は 146 カ国中 125 位と後退してしまいました。

順位を下げた背景として、健康や教育など 4 分野のうち、政治と経済の分野での格差が解消されていないことが第一に挙げられます。

欧州の国では企業の経営層の 30% を女性にすることを義務化するなど、女性が活躍する社会への実現が進む一方で、日本は義務にとどまっています。国として目標を義務化することも大切だと思います。

日本で女性の管理職や政治家が増えない背景には、性別役割分業感が残っていることも大きな要因です。

結婚・出産等で離職した女性が再び働き始め際には非正規雇用が多い。正社員が増えないため女性の賃金は上がらず、経済的な自立ができない状況になっている他、コロナ禍では観光業や飲食業で働く女性の失業も深刻化しました。

賃金や雇用形態で男女格差が埋まらない一方、少子化による人手不足を背景に女性を労働力として活用しようとする国の方針は「アクセルとブレーキを同時に踏む」ような、公共政策の矛盾も大きな課題です。

最後に沖縄から何が出来るのか？ですが、聴講してくださった皆さんが自分たちの所属している組織内のジェンダー問題を見直してみるところからはじめて、一歩踏み出して挑戦して欲しいと思います。

(浜田敬子氏 談)





## 「女性に対する暴力をなくす運動」11月12日～11月25日

内閣府男女共同参画局は、毎年11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間と定めています。夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為等、「女性に対する暴力」は女性の人権を

著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重大な課題です。

おきなわ女性財団では、この期間に女性に対する暴力についてみなさんと一緒に考え、暴力のない社会づくりを進めていけるよう啓発活動などを行っています。

### 令和5年度女性に対する暴力をなくす運動パネル展 (2023年11月15日～11月22日) 於：ているるエントランス

沖縄県男女共同参画センター「ているる」では、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、一人ひとりが小さなリボンを貼って大きなリボンを完成させる「大きなパープルリボンイベント」及び、DV・性暴力といった「女性に対する暴力」について、どのような種類があり、どこに相談すれば良いのか、また、関連法が改正されたことなどを紹介するパネル展を開催しました。



展示の様子

#### 性犯罪に関する法律の改正

2023年7月13日から、刑法及び刑事訴訟法の一部改正により、性犯罪規定が変わりました。

例)「強姦性交等罪」は「不同意性交等罪」になりました。

「暴行」・「脅迫」・「アルコール」などが原因となって「イヤ」と思ったり、「イヤ」と言ったり、「イヤ」を責めることが難しい状況で性的な行為をされた場合、それは犯罪被害となります。



パネル一部抜粋



#### 沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センターについて

平成27年2月2日～令和5年9月30日までの相談状況等を報告しました。延相談件数14,075件、相談者数1,067人。「相談者は20代以下が全体の55%」、「件数の78%は知っている人からの被害」といった特徴が見られました。

#### 刑法改正に関する案内



法務省ホームページ  
性犯罪関係の法改正等Q&A

#### 啓発パネルの内容はこちらからご覧いただけます。



おきなわ女性財団ホームページ/  
令和5年度女性に対する暴力をなくす運動パネル展

### DV防止対策講座 (2023年11月25日) 於：ているる3F研修室

#### 「暴力～沖縄女性をめぐる構造的な問題として」

講師：宮城 晴美 さん（沖縄女性史家）

沖縄女性史に精通する専門家を講師に迎え、「沖縄における女性に対する暴力」を構造的な問題として解説してもらうことで、支援者の資質向上ならびに、顕在的・潜在的当事者となり得る女性をエンパワーすることを目的とした講座を開催しました。

講師は、「敗戦後の駐留米軍基地」「沖縄における“伝統的”家族制度」「メディア」の3つを構造的課題として挙げたことに加えて、「暴力の周縁」と

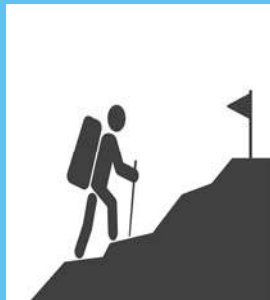
して、沖縄では「配偶者からの暴力に関する相談件数」「保護命令件数」、基地があることと大きく関わる「アルコール依存症者数」が全国上位であり、離婚率も長らく全国1位であることなどをあげ、これらの背後にある「沖縄での暴力」を見落としてはならない。戦後の歴史として決して無視してはいけなと結びました。



宮城 晴美 さん

## 令和5年度女性起業塾+女性キャリアアップセミナー

# 「起業家」への道 あなたは何合目ですか？



## ～起業家を目指す女性への支援～

第6次沖縄県男女共同参画計画～DEIGOプラン～には、「起業家を目指す女性への支援」が位置づけられています。令和5年度は、「先輩起業家からの成功談・失敗談」や「『資金』に関する制度説明」を中心に、「『起業家』への道～あなたは何合目ですか？～」を総合テーマに、令和5年12月2日(土)に「女性起業塾」を、同5日(火)に「女性キャリアアップセミナー」を開催しました。

### ●女性起業塾 「うまくいかないことだらけ。でも楽しい！」

講師：島袋 陽子氏 (Brewery Tumugi 代表)

「久米島町初のクラフトビール醸造所を開設」

講話では、起業を始めた動機から、起業に向けて「始動する」までの様子や心境を話されました。また、県外醸造所での修行期間を経てコロナ禍でのお店の立ち上げや「お客さんが途絶えた」時期の自営業の厳しさをお話くださいました。



島袋陽子氏



講座の様子

ビール醸造にかかる予想外のピンチに悩みながらも、2023年2月の「免許取得と初醸造の初日」の嬉しさは、「一生忘れない！最高に楽しかった！」と、笑顔で話されていました。

最後に、起業する際のクラウドファンディング（不特定多数による資金提供）手法や、今後の展望を熱く語ってくださいました。会場から多くの質問も受け付け、受講後のアンケートには、参加者の満足感や充実感が溢れていました。

### ●女性キャリアアップセミナー

「第一線で20年、まだまだこれからも」



講師：宮國 由紀江氏  
(薬膳琉花代表講師)

「沖縄にしかない、薬膳の考え方を研究し、活動」

講話では、まずご実家の「製造業」について話され、そのため「製造業」はご自身にとって身近な存在であり、現在製造されているお菓子へと繋がっていることを話されました。

続いて、病院食に携わったご経験のなかで、おじやおばあから言われた「食べ合わせの小言」が、「薬膳」を勉強していくなかで、「食べ合わせの知恵」となっていることを知り、薬膳を通して「食べ物は薬、クスイムン」という琉球の食文化を実感し、沖縄県の長寿日本を復活させたいという思いを話されました。



講座の様子

「教えて『創業資金』のあれこれ」



講師：小松崎 愛氏  
(沖縄県よろず支援拠点コーディネーター)

「創業前に補助金等を活用する」

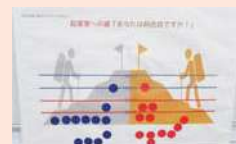
ご自身の起業経験から「創業前に補助金等を活用する」ことの有意さを語り、創業計画書や資金返済シミュレーションなどをご説明いただきました。

また、本講座では、沖縄県産業振興公社編「令和5年度 中小企業100の支援 支援策・補助金ガイド」の一部を配布しました。

最後に参加者には、講座受講前と後で自らの「『起業家』への道」を何合目としてボードに示してもらいました。更に希望者へは個別相談を行いました。



講座の様子



ボード「何合目ですか？」



# ているる塾修了生コラム

## 第7回



おおつか のりこ  
大塚 乃子  
合同会社ちえんじ設立

夫と4人（高2女・中3女・小6二卵性男子）の子育てのママ。

専門学校卒業後、医療事務に従事。結婚、出産、育児で働き方が変わる中、ているる塾で同じグループになった女性との出会いをきっかけに、「お母さんが変われば家庭が変わる」を経営理念とする合同会社ちえんじを設立。2023年7月に家族丸ごと応援できる「児童デイサービスたんたん」を開所。現在、医療×福祉×教育を繋げる地域に還元プロジェクトに奮闘中。

ているる塾第2期生卒業の大塚乃子（おおつかのりこ）と申します。

私は専門学校で医療事務の資格を取得後、クリニックで勤務してきました。

結婚、出産・子育てをするたびに働き方が変わっていき、クリニックを中心にレセプト点検、在宅医療機関など正社員やパート勤務などで働きました。

子育てをしながら仕事を続けていても、子どもの病気の看病以外に怪我などで学校からの呼び出しがあり、下の子が小学校に上がっても子育ては全然落ち着かなく、子育てと家事を両立するために医療事務にこだわらず事務系のお仕事も経験しました。

家事・育児の心身のバランスを保つことが出来ず、正社員として働くこともできず、できないことがどんどん増えていき、歳だけ老いていく。履歴書に書ける学歴や資格がないことと社会に取り残されていく不安だけが増えていきます。

考え方や視野を広げたい「私、変わりたい」の想いと、コロナ禍で子供たちの休校も重なり未来に対して不安な時に Facebook のフォローページからているる塾の塾生募集を見た姉が紹介してくれて、受講を決めました。

入講式の後、塾生の自己紹介が始まりました。無職で専業主婦の私。

「キャリアアップ」がテーマのているる塾。自己紹介の時には、他のみんながキャリアウーマンにみえ、地域のクリニック勤務の経験しかない専業主婦の私は、場違いだと逃げ出したい気持ちになりました。

グループを作り交流する中で「キャリア」について意見を交換していく中で、働き方には、有償労働と無償労働がある。有償労働のみではなく、育児や家事・介護などの家庭内の無償労働もキャリアと捉える。昇給昇格、役職に限定しないことでキャリア

アップに対する自分の思い込みが変わりました。立場は違っても、みんな自己実現を目指している。

私が葛藤していたことはみんなと同じであり、一歩踏み出す勇気をもって集まった仲間だと話したからこそ分かりあえたと思えました。

一歩踏み出す勇気は、人生を充実させる自己実現の手段。

キャリア=人生の経験値。キャリアアップ=自己実現。と私たちグループ名は「女性キャリア実現党」となり発表を終えることができました。

同じグループになった平良和さんは、自宅も近くてプライベートでも会う仲になりました。

彼女の言語聴覚士という職業の経験から、子ども福祉に関わる「療育」という考え方を聞いた私は、「～をしなければならぬ」と思い込んでいた自分自身がいたことに気が付きました。

「考え方や視野を広げたい」と思っていた私にとって、彼女の『育児』を『育自（自分を育てること）』と捉える考え方はとても新鮮でワクワクするものでした。

子育てに悩み、自信のない過去の私にも教えてあげたいと思いました。

病院と福祉、地域に繋げる働き方、彼女の自分追求をしていく姿に私もワクワクが止まりません。

『母親が変わっていくことで家庭が変わっていく』を人生のテーマに掲げている私は、7月に豊見城市でお母さんと一緒に通える児童デイサービスたんたんを開業しました。

ているる塾で得た経験を活かし、私と平良和さんの失敗を恐れないこと、挑戦し続けること、生涯ワクワクしたいと思います。そして、「女性キャリア実現党の～その後～」はこれからも続いていきます。

# 事業報告&事業案内

(公財) おきなわ女性財団



## 【ワーク・ライフ・バランス講座】

### 片付けたくなる！ お片付けの基本と手順講座

実施日：令和5年10月21日（土）16:00～18:00

講師：渡名喜 一珠美氏  
(沖縄お片付けリアン 整理収納アドバイザー)

場所：ていする3階 研修室1・2

内容：整理収納のプロに、「整理」「収納」「整頓」「掃除」「片づけ」の5つの手順の言葉の意味を教わって、基本的な整理整頓が継続可能な片付けに繋がるということ学びました。

受講者の片付かない具体的な理由を確認し、意識的に取り組むことや、片づけることで得られる3つのお得「時間」「お金」「ストレスフリー」があること等、とても分かりやすく教わりました。

参加者から「身近にすぐ実践できるようなポイントやアドバイスが得られた。」「日々の過ごし方を見直して快適になれそうだ。」などの声が多く寄せられました。



渡名喜一美氏



受講の様子

## 【第2回男性の家事・育児参画講座】 2023年ノーベル経済学賞関連②

### 「産前産後の母体ケアとパートナーの役割」について

募集中

実施予定日：令和6年2月24日（土）14:00～16:00

講師：井上 松代氏 (沖縄県立看護大学・大学院  
母性保健看護・助産准教授)

場所：ていする3階 研修室1・2

内容：働き方も変化が必要といわれる時代、妊婦のパートナーが「長時間労働」の働き方では、家事や育児などの「分担が困難」です。お互いの「育児休業期間」を更り多いものとするため、家庭での役割や必要な知識、妊婦体験を学ぶ機会にしませんか。



## 【生理用品の無償配布について】

生理の貧困の問題について、その実態やニーズを把握し、必要とされる福祉サービスに繋げていくため、「ていする」では生理用品を無償で配布しています。

1階窓口で職員にお声かけください。

### 【対象者等】

生理用品を必要としている方であれば、どなたでも受け取れます。無くなり次第終了となります。





### 【管理運営団体自主事業】「ているる星あそび」

実施日：11月22日（水）19：30 開始  
 講師：星の専門店 星あそび氏  
 場所：ているる中庭

内容：星のソムリエが、ているるから見える星や 12 星座のお話しを楽しく解説してくださいました。  
 心地よい夜風にあたりながら、天体望遠鏡で見た「月」は、宇宙を感じる時間となりました。  
 大人も子どもも改めて、「夜空の星の物語」に夢中になっていました。



### 【管理運営団体自主事業】「祝・七五三 琉装撮影会」

実施日：11月23日（木）13：00～17：00  
 共催：知念範紘琉装文化学院、株式会社ビックブライダル

内容：ひとり親世帯などを支援し、子どもたちの健やかな成長を願って開催。  
 七五三を迎える子どもたちが、40名参加しました。  
 プロの手で髪をセット・メイクしてもらい、琉装に着替えた子どもたちからは、笑顔があふれました。  
 撮影では、カメラマンたちの掛け声に照れる子、ポーズをとる子など、仕上がりを楽しみな撮影会となりました。



### 【図書情報室イベント事業】「あわていーはーていーサンタさんのおはなし会」

実施日：12月9日（土） 14：00～15：00  
 場所：ているる1階 ふれあいサロン

内容：沖縄おはなしの会伝々虫（ちんなん）さんと役者の神崎英敏さんによるお話し会を実施しました。  
 参加者は、出演者と一緒に手遊びをしたり、披露される童話に声を出して反応したり、皆で楽しんでいる様子でした。  
 『三びきのやぎのらがらどん』の素話や、サンタクロースによるギター演奏などが楽しかったとの声に参加者から寄せられました。



※令和6年2月1日～2月14日は、図書館情報室の蔵書点検のため休室です。

## ～ている相談室～

公益財団法人おきなわ女性財団では相談窓口を開設しています。  
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL：098-868-4010	国際女性相談 TEL：098-880-3402	にじいろ相談 TEL：098-880-8434	男性相談 TEL：098-868-4011
日時	火曜～土曜 10：00～17：00		土曜のみ 10：00～17：00	日曜と月曜 10：00～16：00
相談方法	電話／面接（面接は予約が必要です。） 女性からの相談を女性の相談員がお受けします。  特別相談（予約が必要です。） 専門家による面接相談 ◆法律相談（月2回） ◆こころの健康相談（月1回）		電話／面接 （面接は予約が必要です。）	電話  男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 ※相談は、電話相談のみとなります。
相談内容	女性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談をお受けします。	外国人との結婚・離婚など様々な問題に関する相談をお受けします。	セクシャリティに関わる悩みや困りごとをご本人だけでなく、家族や周囲の方からのご相談もお受けします。	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。
休み	毎週日曜と月曜、年末年始（12/29～1/3）		年末年始（12/29～1/3）	祝日にあたる月曜、年末年始（12/29～1/3）

## ～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。  
頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

- 特典：情報誌「ているちゃんがいく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。  
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。
- 年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円  
※新規は、入会時期（申込日）により金額が異なります。

（公財）おきなわ女性財団（098-868-3717）までお問合せください。

## （公財）おきなわ女性財団への寄付のご報告

「金秀グループ」からチャリティーゴルフ大会を通して、令和5年8月18日に30万円の寄付がありました。

また、「一般社団法人沖縄県女性の翼」から公益財団法人おきなわ女性財団設立30周年を祝し、令和5年11月23日に5万円の寄付がありました。



公財おきなわ女性財団  
理事長 大城貴代子

金秀グループ  
会長 呉屋守将 氏



一般社団法人 沖縄県女性の翼  
会長 崎原末子 氏

公財おきなわ女性財団  
理事長 大城貴代子

頂いた寄付金は、当財団の男女共同参画社会づくりに向けた公益事業のために大切につかわせていただきます。



発行月：令和6年1月

発行：公益財団法人おきなわ女性財団  
TEL：098-868-3717 FAX：098-863-8662  
HP：https://www.okinawajosei.org/

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体  
TEL：098-866-9090 FAX：098-866-9088  
HP：http://www.tiruru.or.jp/